



株式会社 **CE** ホールディングス



証券コード
4320

2019年9月期 決算説明会資料

2019年 11月

目次



グループ概要

2019年9月期ハイライト

医療及び医療情報システム市場の動向

年度計画、中期計画

業績向上に向けて

財務情報・株式情報

目次



グループ概要

2019年9月期ハイライト

医療及び医療情報システム市場の動向

年度計画、中期計画

業績向上に向けて

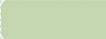
財務情報・株式情報

会社概要（2019年9月末現在）



商号	株式会社ＣＥホールディングス	
設立	1996年3月25日	
資本金	11億5,792万円	
所在地	札幌市白石区平和通15丁目北1番21号	
代表者	代表取締役社長 杉本 恵昭	
上場市場	東証一部、札証（証券コード：4320）	
主な株主	日本電気株式会社、日本事務器株式会社、 日本生命保険相互会社、 株式会社北洋銀行、株式会社北海道銀行	
従業員数	331名（連結）	
連結子会社 （ ）内は持株比率	株式会社シーエスアイ	（100.0%）
	株式会社M o c o s u k u	（57.5%）
	株式会社エムシーエス	（51.0%）
	株式会社システム情報パートナー	（100.0%）
	株式会社ディージェーワールド	（100.0%）
持分法適用関連会社	株式会社駅探（東京証券取引所マザーズ上場）	

グループの概要

※  は連結子会社
 ※  は持分法適用関連会社



株式会社 **CE** ホールディングス

略称 **CEHD**
 設立 1996年3月
 上場会社・持株会社



株式会社 **シーエスアイ**

略称：CSI 持株比率：100.0%

電子カルテシステム「MI・RA・Is」を中心とした医療システム開発と受託システム開発



medical care solutions
MCS
 株式会社 **イムシーエス**

略称：MCS 持株比率：51.0%

看護業務システムの開発・導入・運用保守をトータルサポート



株式会社 **システム情報パートナー**

略称：SIP 持株比率：100.0%

医療情報システムの開発・導入・運用保守をトータルサポート



株式会社 **ディージェーワールド**

略称：DJW 持株比率：100.0%

医療情報システムの総合的な提案と支援、最新インターネット型デジタルサインソリューション



Mocosuku

持株比率：57.5%

ハルカサイト『Mocosuku』の企画・運営とWebマーケティング・プロモーション

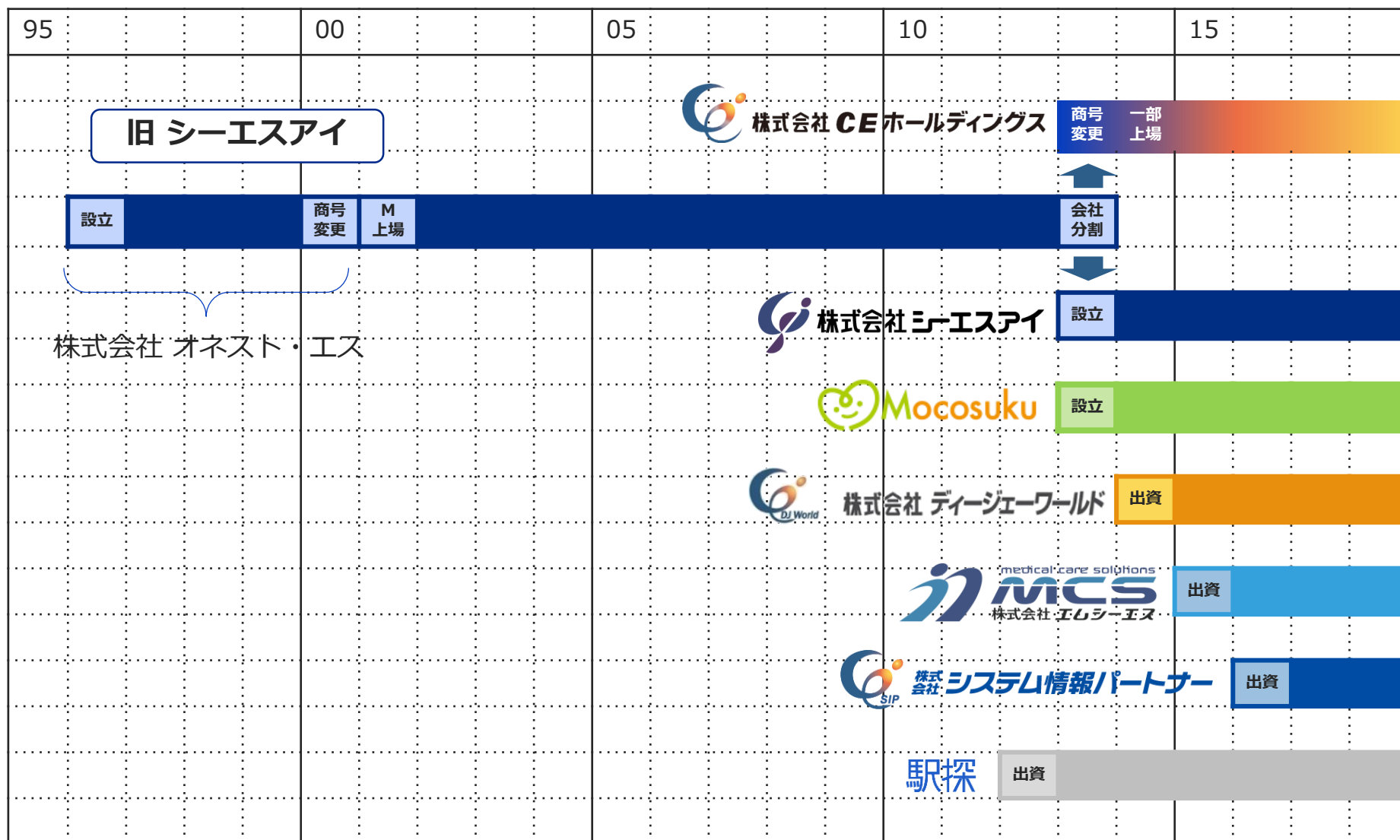
駅探

持株比率 31.03%
 資本・業務提携 2012年5月
 上場会社



株式会社 **CE** ホールディングス

グループの沿革

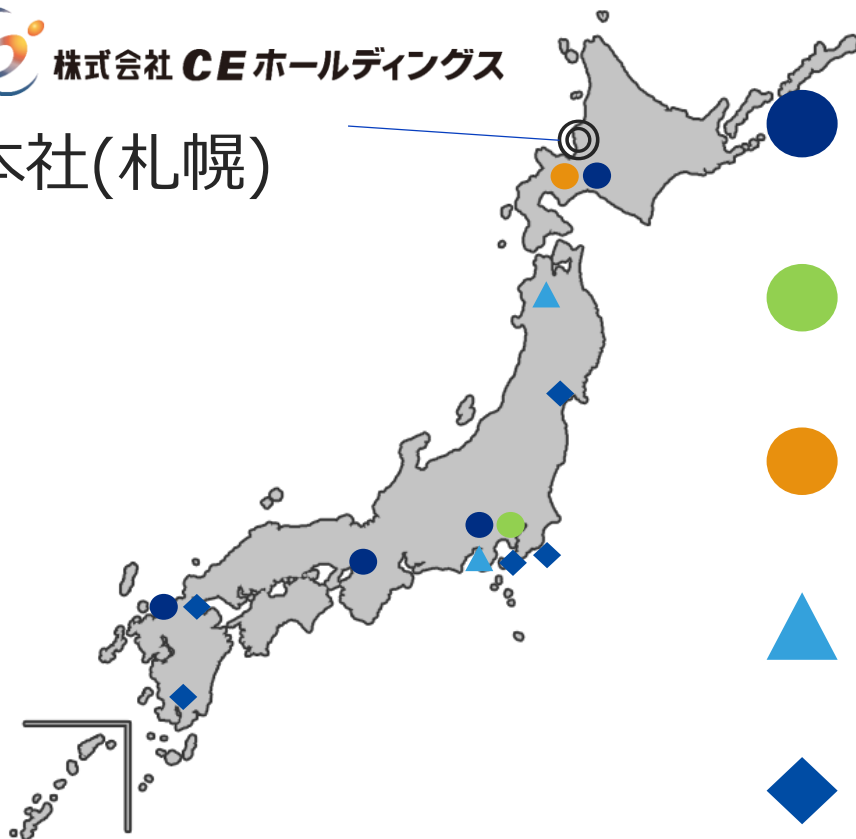


グループの拠点



株式会社 **CE** ホールディングス

本社(札幌)



株式会社 シーエスアイ

本社(札幌)



本社(東京)



株式会社 ディージェーワールド

本社(札幌)



株式会社 エムシーエス

本社(弘前)



株式会社 システム情報パートナー

本社(東京)

事業内容



セグメント	主要な製品・サービス		提供会社
医療 システム 事業	電子カルテシステム「MI・RA・Isシリーズ」	MI・RA・Is/AZ 等 (介護機能：オプション)	CSI、MCS
	地域医療連携システム	ID-Link	CSI
	医療機関・患者のコミュニケーションサービス	かかりん	CSI
	医療情報システムの受託開発		CSI、SIP、DJW
	医療情報システムの運用管理（病院内のシステム・ネットワークの運用管理等）		SIP
	医療機関向け料金後払いシステム		SIP
	医療機関向けデジタルサイネージ	MI・RA・Is/Signage	CSI
その他	ヘルスケア関連情報提供、マーケティング支援	Mocosuku	Mocosuku
	公共・商業施設向けデジタルサイネージ	DJ-Signage	DJW

事業内容 (電子カルテシステム「MI・RA・Is シリーズ」)

MI・RA・Is/AZ ミライズ エージー

MI・RA・Is/AZ	一般病院向け
MI・RA・Is/AZ Mix	療養病床や精神病床を有する病院向け
MI・RA・Is/AZ Lite	小規模病院向け
MI・RA・Is/AZ For Cloud	クラウド版

+

介護機能
(オプション)

目次



グループ概要

2019年9月期ハイライト

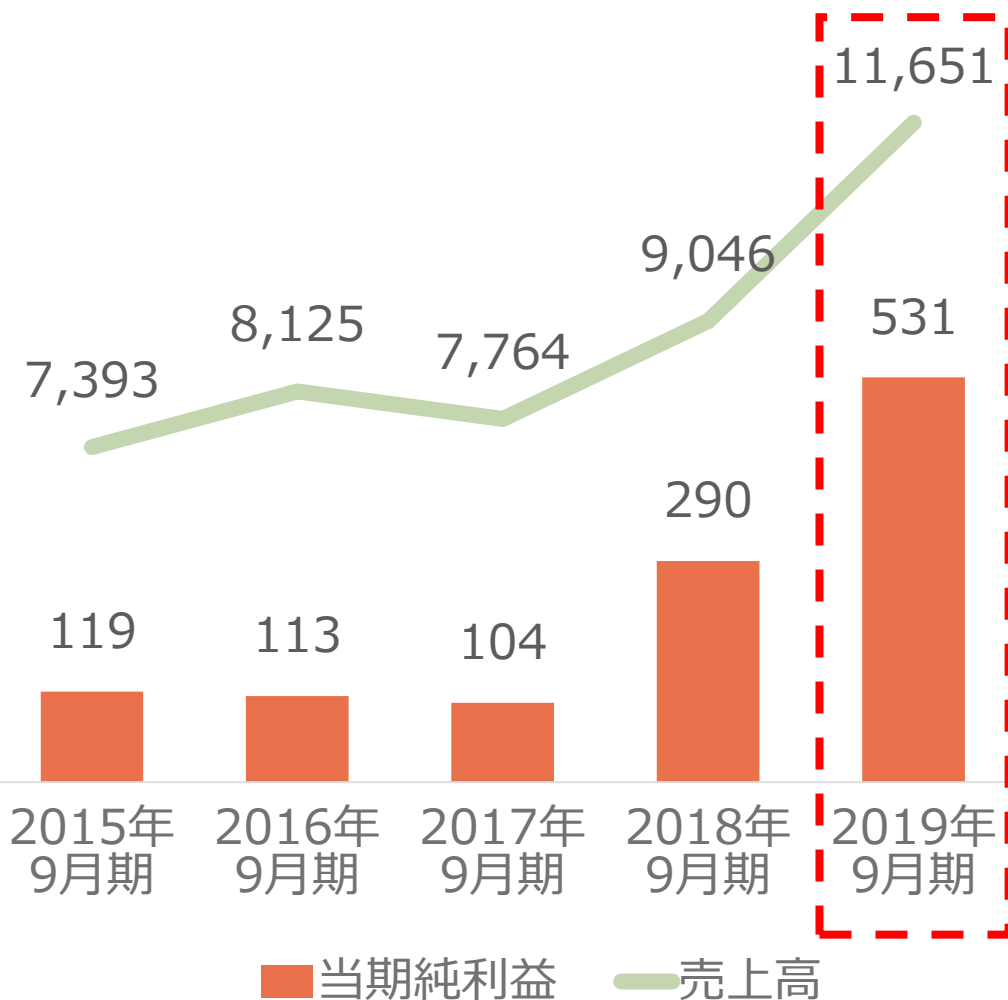
医療及び医療情報システム市場の動向

年度計画、中期計画

業績向上に向けて

財務情報・株式情報

2019年9月期（前期）連結業績



■ 売上高は前期比大幅増 （+28.8%）

- 電子カルテ新製品「MI・RA・Is/AZ」が好調
- 複数の大型案件
- 消費税率引き上げに向けた医療機関のシステム投資増加

■ 利益面でも前期比大幅増 （当期純利益で+82.8%）

- 売上増に伴う売上総利益の増加

**売上高、利益ともに
過去最高を更新**

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

※当期純利益は、親会社に帰属する当期純利益を表示しております。

損益計算書（連結）

売上高、利益ともに
過去最高を更新

単位：百万円

(連結)	2018年9月期 実績	2019年9月期		前期比 増減率	修正計画比 増減率
		修正計画 (2019年7月31日)	実績		
売上高	9,046	11,000	11,651	+ 28.8%	+ 5.9%
営業利益	526	750	961	+ 82.7%	+ 28.1%
経常利益	590	770	984	+ 66.8%	+ 27.8%
当期純利益	290	400	531	+ 82.8%	+ 32.8%

- 売上高は、2017年8月より販売を開始した当社グループの主力製品である電子カルテシステム「MI・RA・Is/AZ」を含む医療システムの販売が前期に続き好調で、複数の大型案件の導入・更新や、2019年10月に実施された消費税率引上げに向けた医療機関のシステム投資の増加もあったことから、前期比で大幅な増加。
- 売上増に伴う売上総利益の増加等により、営業利益及び経常利益並びに親会社株主に帰属する当期純利益もそれぞれ前期比で大幅に増加。

セグメント別実績（連結）



単位：百万円		2018年9月期 実績	2019年9月期 実績	前期比 増減率
医療 システム事業	売上高	8,977	11,578	+ 29.0%
	セグメント利益	559	1,011	+ 80.7%
その他	売上高	69	73	+ 5.9%
	セグメント利益	△34	△31	—

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

セグメント別受注状況（連結）



単位：百万円

	2018年9月期 実績		2019年9月期 実績		前期比 増減率	
	受注高	受注 残高	受注高	受注 残高	受注高	受注 残高
医療システム事業	9,276	3,243	9,674	2,291	+ 4.3%	△ 29.3%
その他	54	12	55	5	+ 1.6%	△ 52.1%
合 計	9,330	3,255	9,730	2,297	+ 4.3%	△ 29.4%

2018年9月末に計上されていた
大型案件が売上計上されたため、
前期比減少

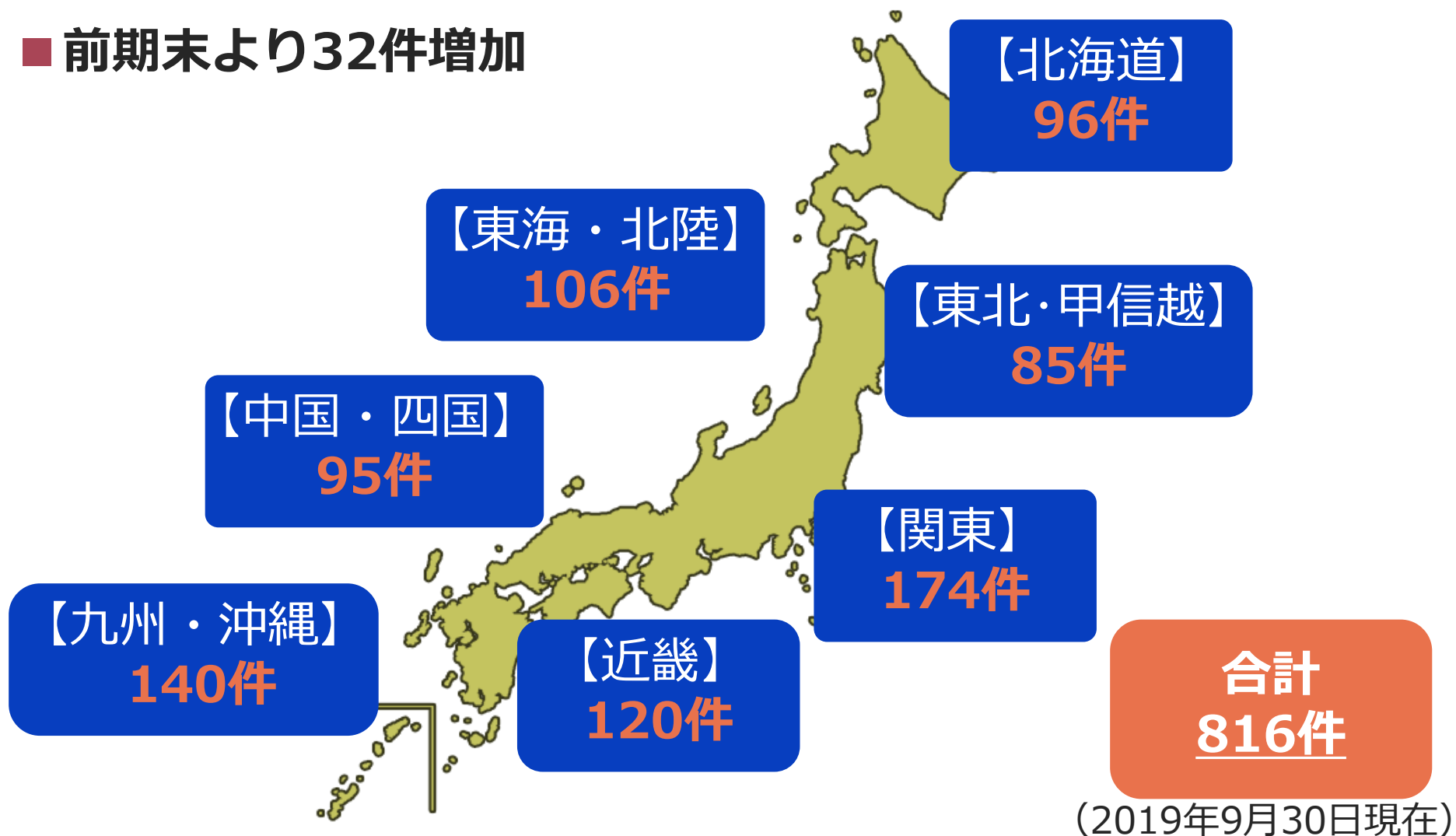
ただし、
2017年9月末の受注残高
(2,079百万円) を上回っている

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

MI・RA・Isシリーズ導入実績



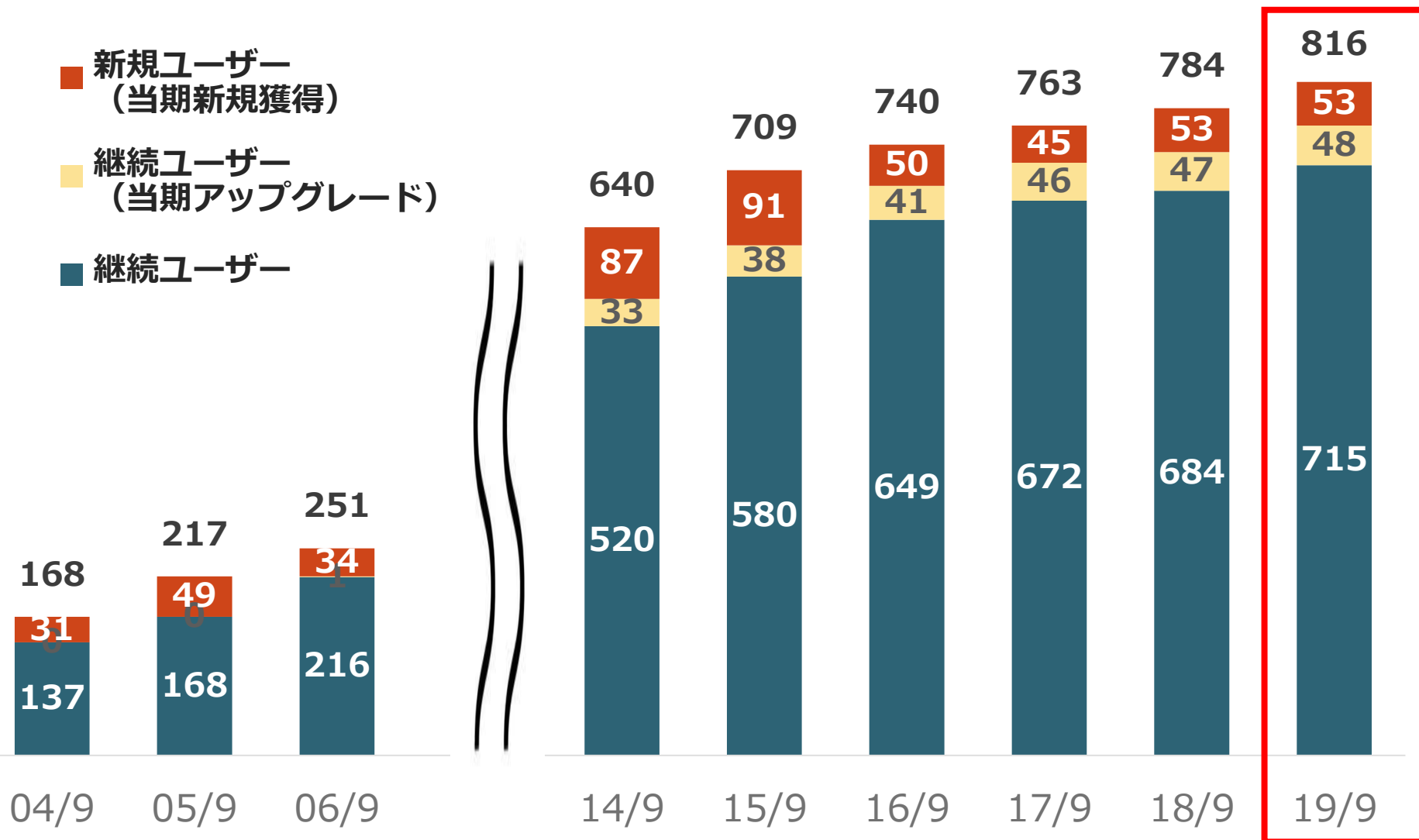
■ 前期末より32件増加



MI・RA・Isシリーズ導入数推移



- 新規ユーザー
(当期新規獲得)
- 継続ユーザー
(当期アップグレード)
- 継続ユーザー



目次



グループ概要

2019年9月期ハイライト

医療及び医療情報システム市場の動向

年度計画、中期計画

業績向上に向けて

財務情報・株式情報

医療情報システムの今後の展開

医療の課題

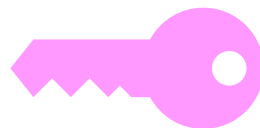


増大する国民医療費

少子高齢化

医師・看護師不足(偏在化)

病院の減少(8,372床)



解決のキーは
電子カルテの普及



政府の対策

医療の情報化

医療情報の利用促進

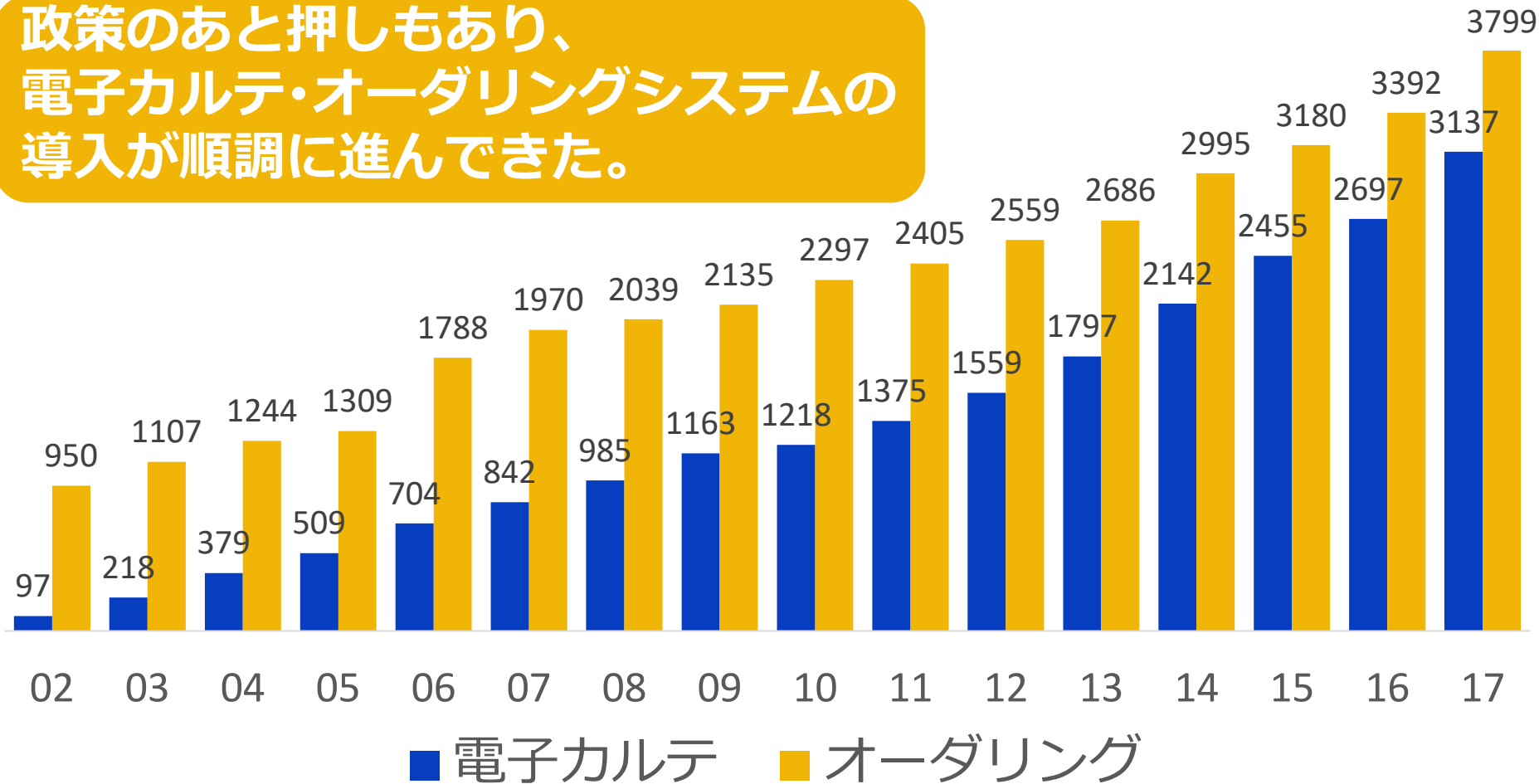
地域医療連携

※ データは厚生労働省（2019年9月25日発表「2018年 医療施設（動態）調査・病院報告の概況」）による

国内病院での電子カルテ・オーダリングシステム導入状況



政策のあと押しもあり、
電子カルテ・オーダリングシステムの
導入が順調に進んできた。



※ 全病院導入状況

※ JAHIS月刊新医療共同調査データから当社集計

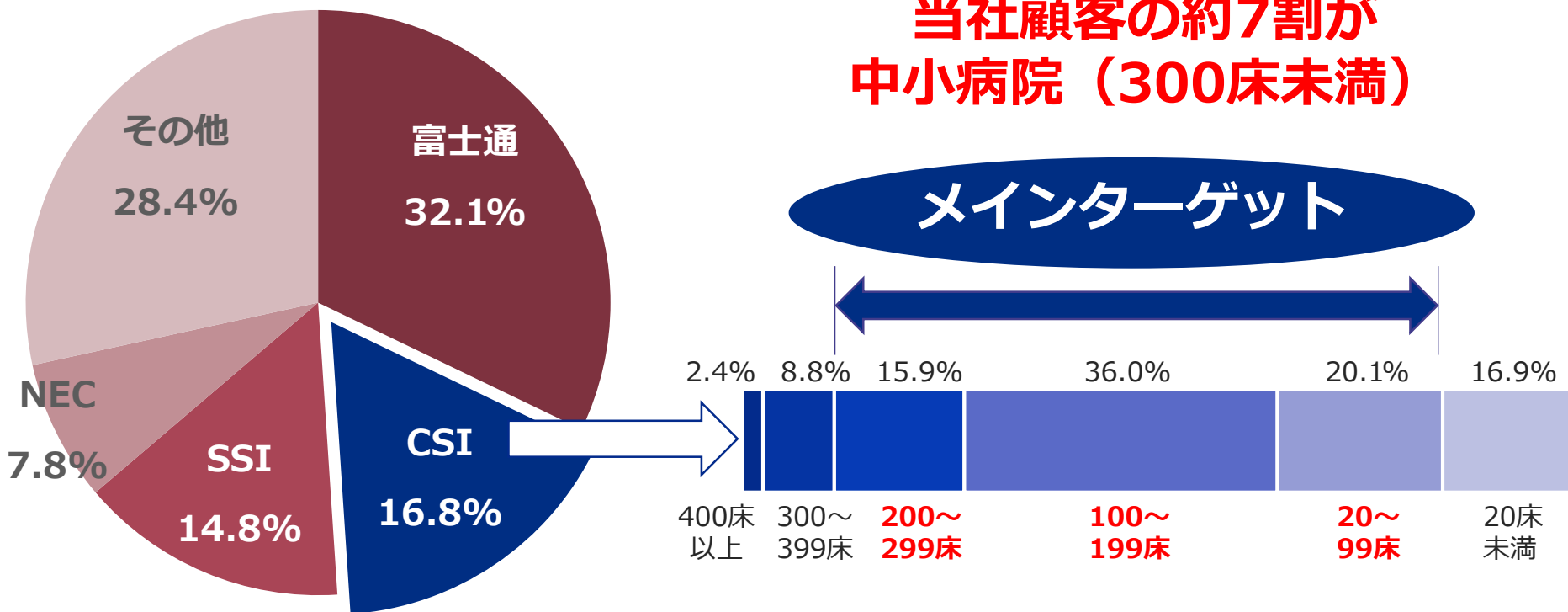
電子カルテシステム シェア・当社の特色

導入件数 国内第2位

中小病院に特に強み

当社顧客の約7割が
中小病院（300床未満）

メインターゲット

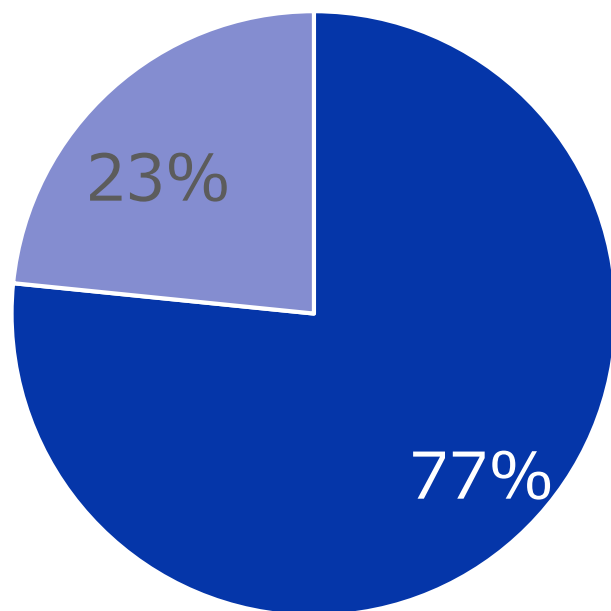


JAHIS月刊新医療
共同調査データから当社集計

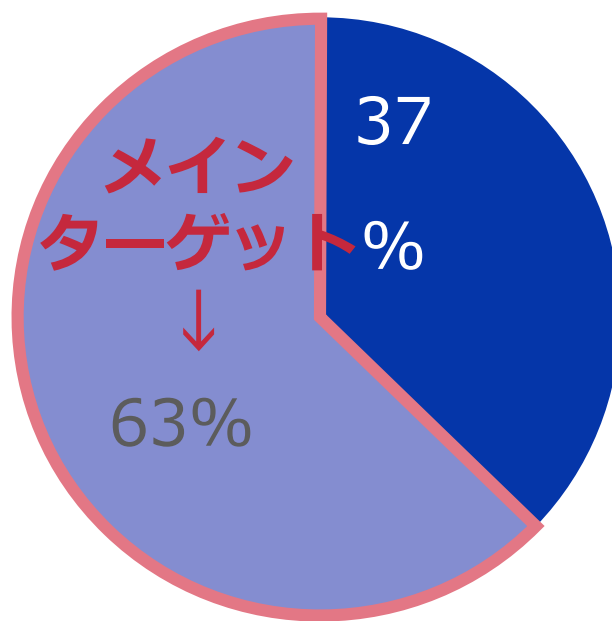
電子カルテシステム導入率



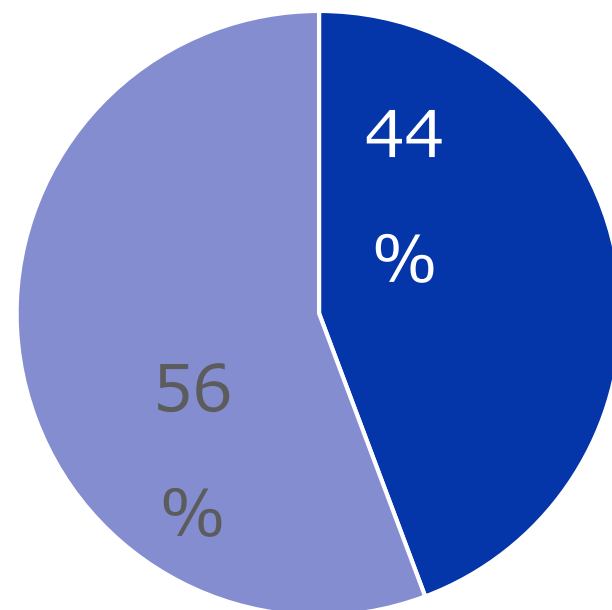
大病院
(300床以上)



中小病院
(300床未満)



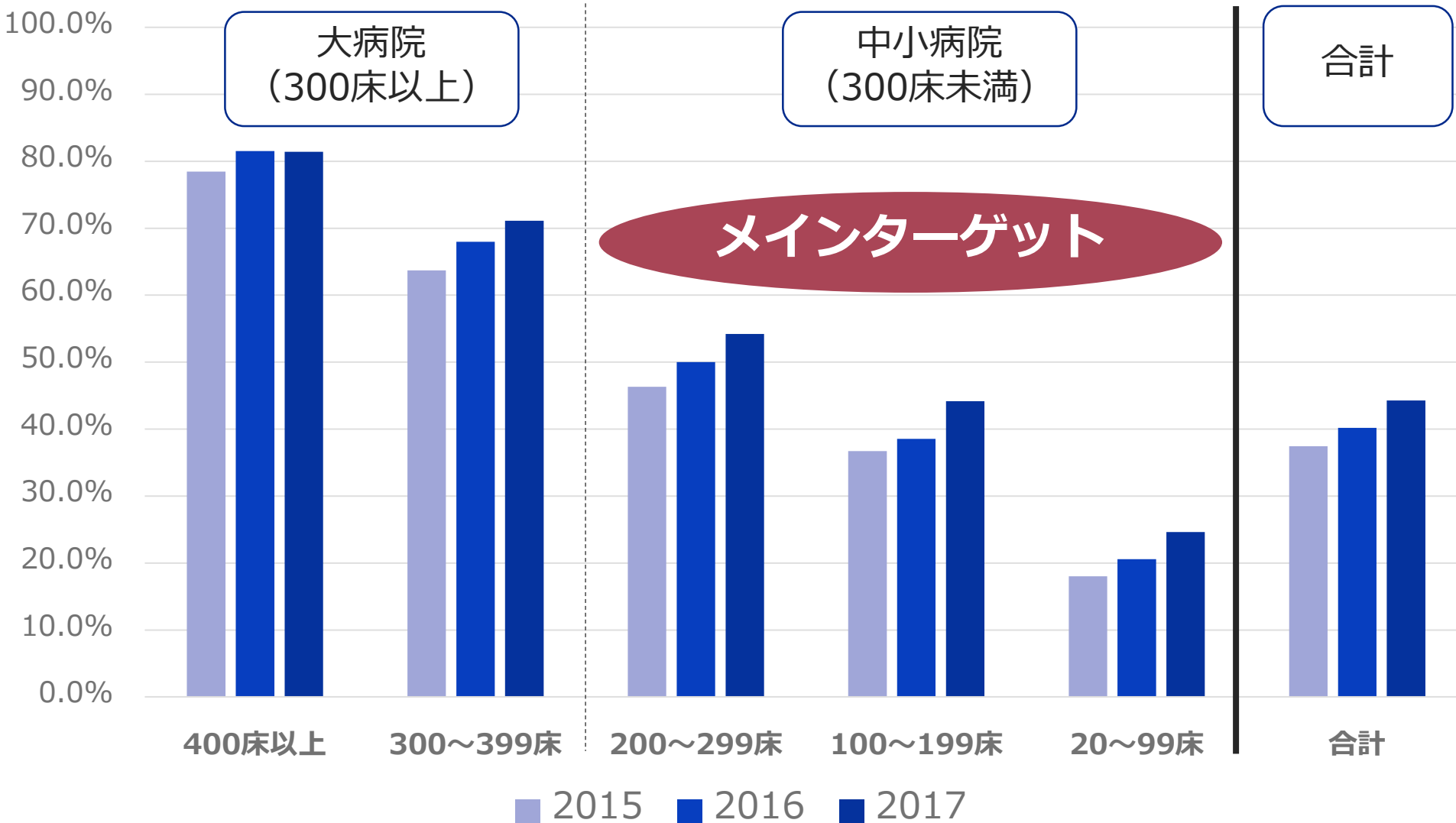
合計



■ 導入 ■ 未導入

JAHIS月刊新医療共同調査データから当社集計

電子カルテシステム導入率の推移



JAHIS月刊新医療共同調査データから当社集計

目次



グループ概要

2019年9月期ハイライト

医療及び医療情報システム市場の動向

年度計画、中期計画

業績向上に向けて

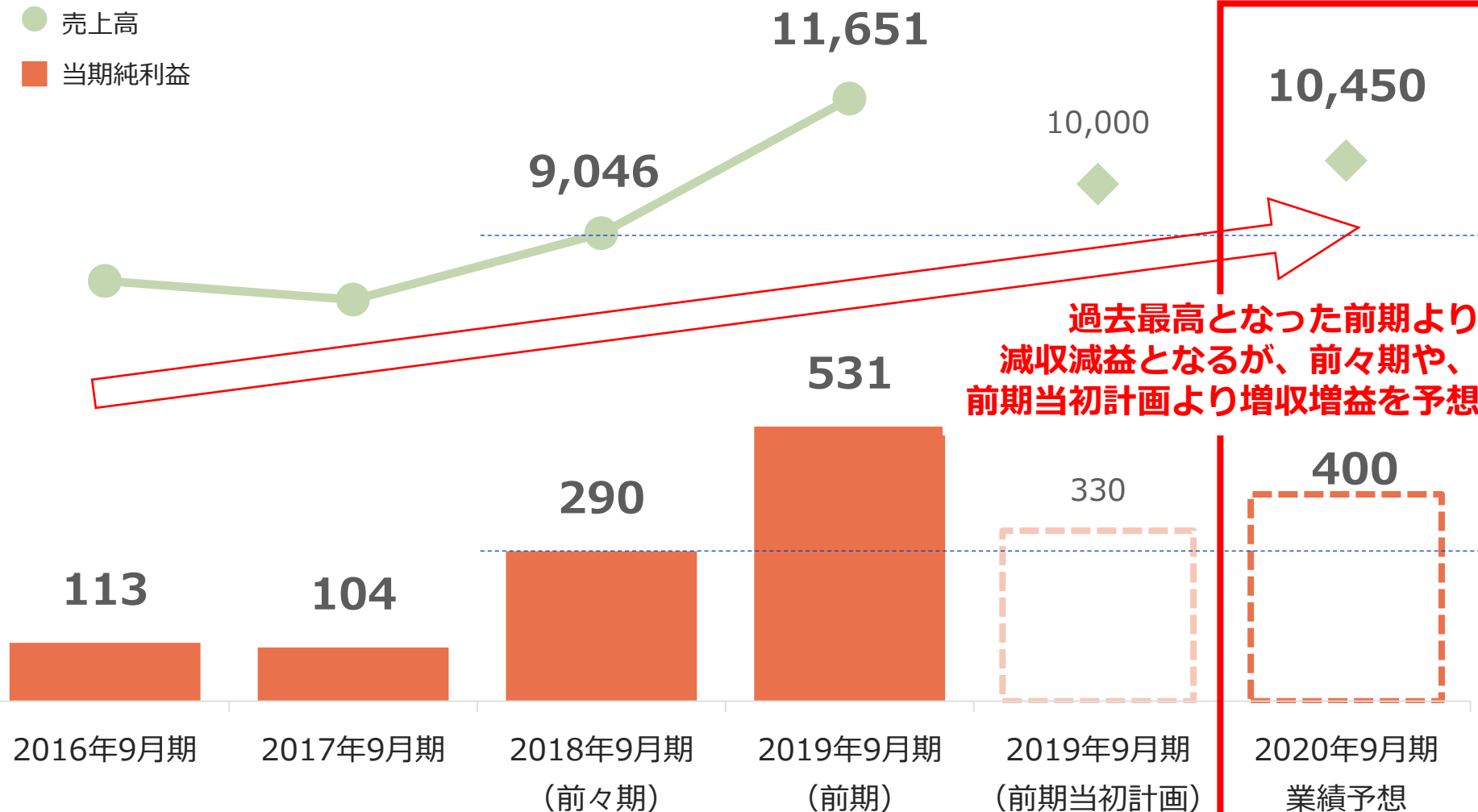
財務情報・株式情報

2020年9月期

業績見通し



● 売上高
■ 当期純利益



2020年9月期 業績見通し



単位：百万円	2019年9月期 実績	2020年9月期 計画	前期比 増減率
売上高	11,651	10,450	△ 10.3%
営業利益	961	750	△ 22.0%
経常利益	984	750	△ 23.8%
当期純利益	531	400	△ 24.8%

- 医療システムを中心に、販売面の強化、顧客満足度向上、製品の品質向上及び機能強化、利益率の改善に取り組む。

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

※ 当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を表示しております。

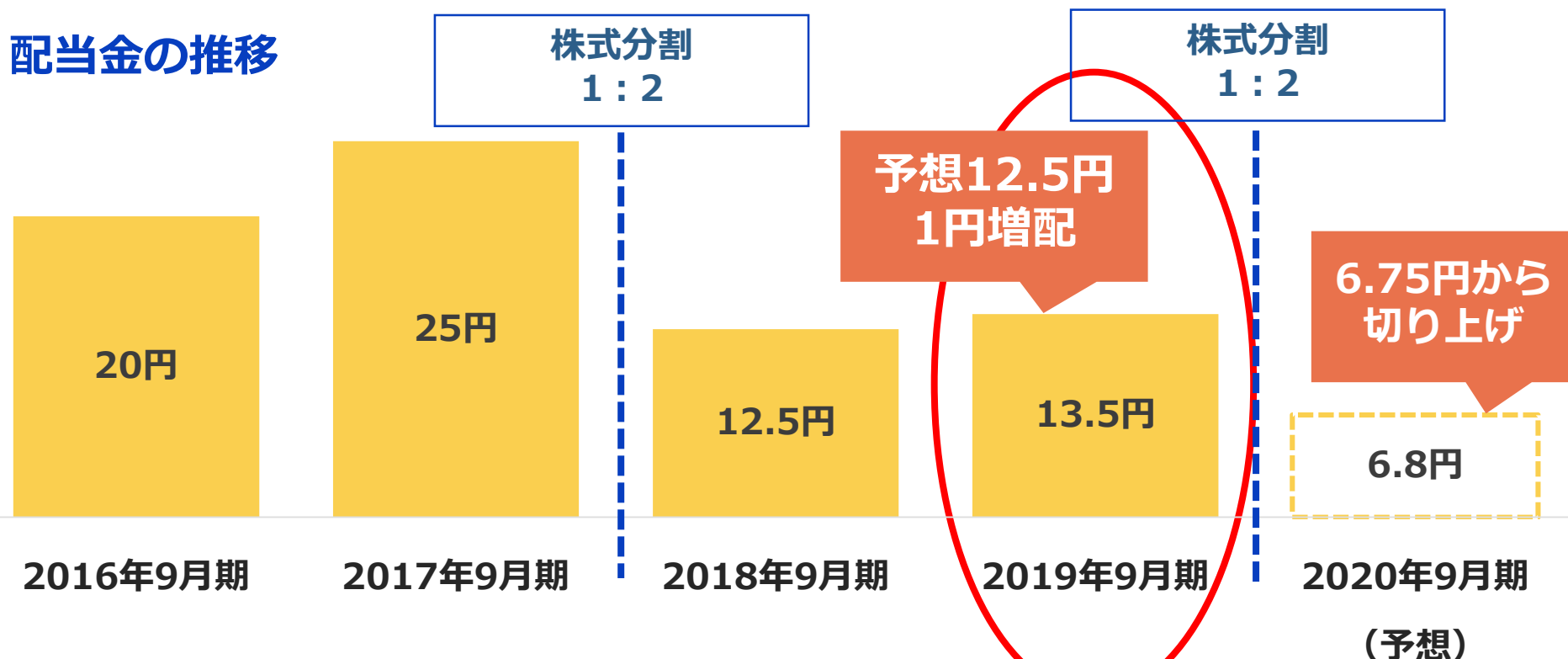
剰余金配当に関して

定時株主総会
付議予定

【利益配分に関する基本方針】

- 株主尊重を第一義として考え、利益配分については、経営基盤の一層の強化と事業拡大に必要な内部留保を確保しつつ、株主の皆様への利益還元を継続して実施していく。

配当金の推移



中期目標（2022年9月期まで）



3年以内に

MI・RA・Is
1,000ユーザー

〔2019年9月期〕
816ユーザー

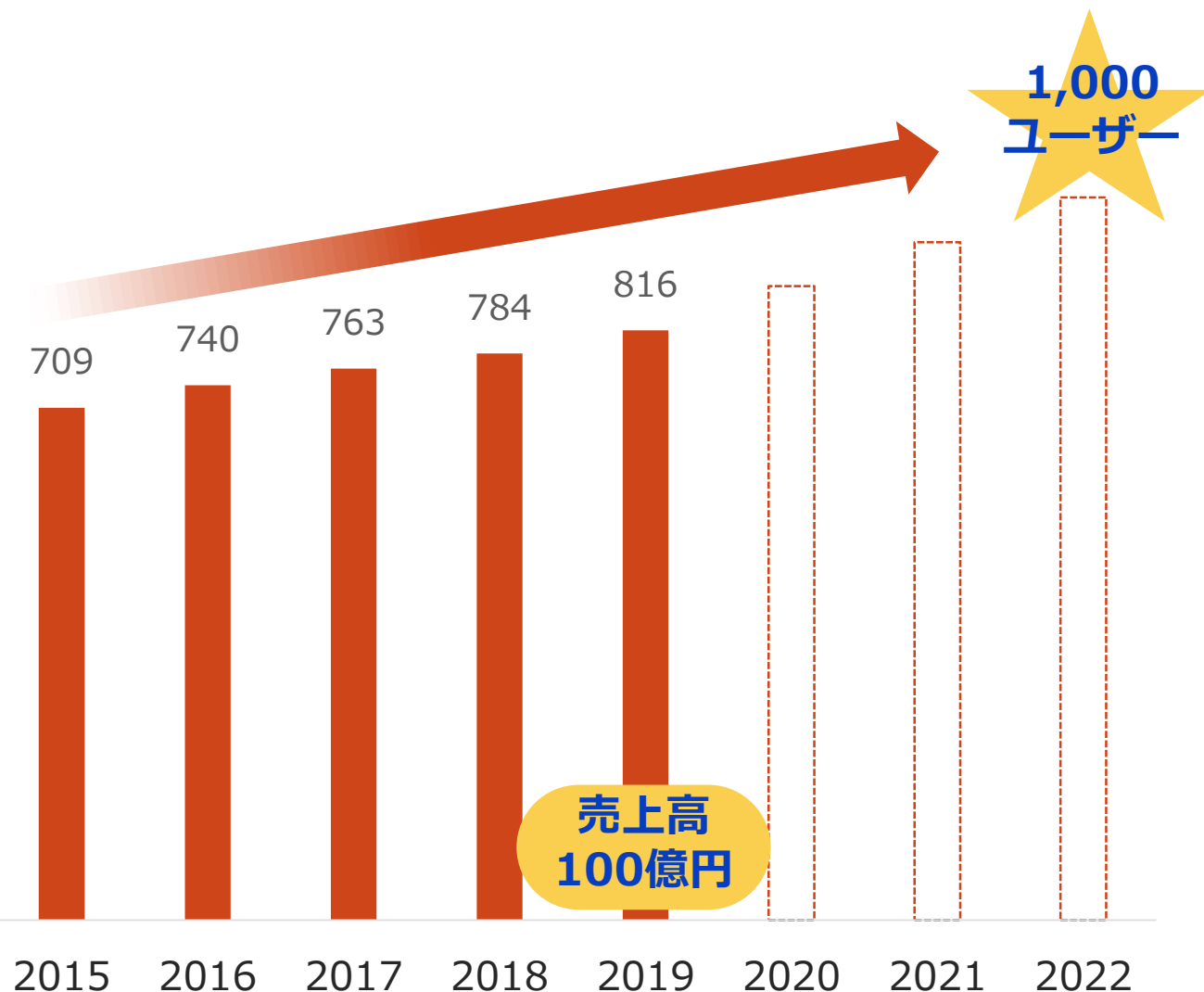
営業利益率
10%

〔2019年9月期〕
8.2%

時価総額
100億円

〔2019年9月期〕
66.9億円

（M&Aを含め）



目次



グループ概要

2019年9月期ハイライト

医療及び医療情報システム市場の動向

年度計画、中期計画

業績向上に向けて

財務情報・株式情報

パートナーの営業力強化【シーエスアイ】



電子カルテシステム（CSI）の販売体制

直接販売のほか、提携先との連携により、全国に販売体制を構築

【直販拠点】（CSI）

- ・ 本社システム営業部
- ・ 東京支社
- ・ 大阪支店
- ・ 九州支店

【提携先】

NEC系販社(MegaOakブランド)

- ・ NEC、NECグループ各社
- ・ 日本事務器(株) 等

その他販社

- ・ PHC(株)
- ・ (株)NTTデータ
- ・ キヤノンメディカルシステムズ(株)
- ・ 医療系コンサル会社 等

直販

13ユーザー

2019年9月期
新規獲得
53ユーザー

提携先

40ユーザー

パートナーの営業力強化【シーエスアイ】



電子カルテシステム（CSI）の販売体制

直接販売のほか、提携先との連携により、全国に販売体制を構築

【直販拠点】（CSI）

- ・ 本社システム営業部
- ・ 東京支社
- ・ 大阪支社
- ・ 九州

【提携先】

（MegaOakブランド）
グループ各社

□ 戦略的な情報を共有し、単なるシステム販売店ではない、より強固な協業関係を構築

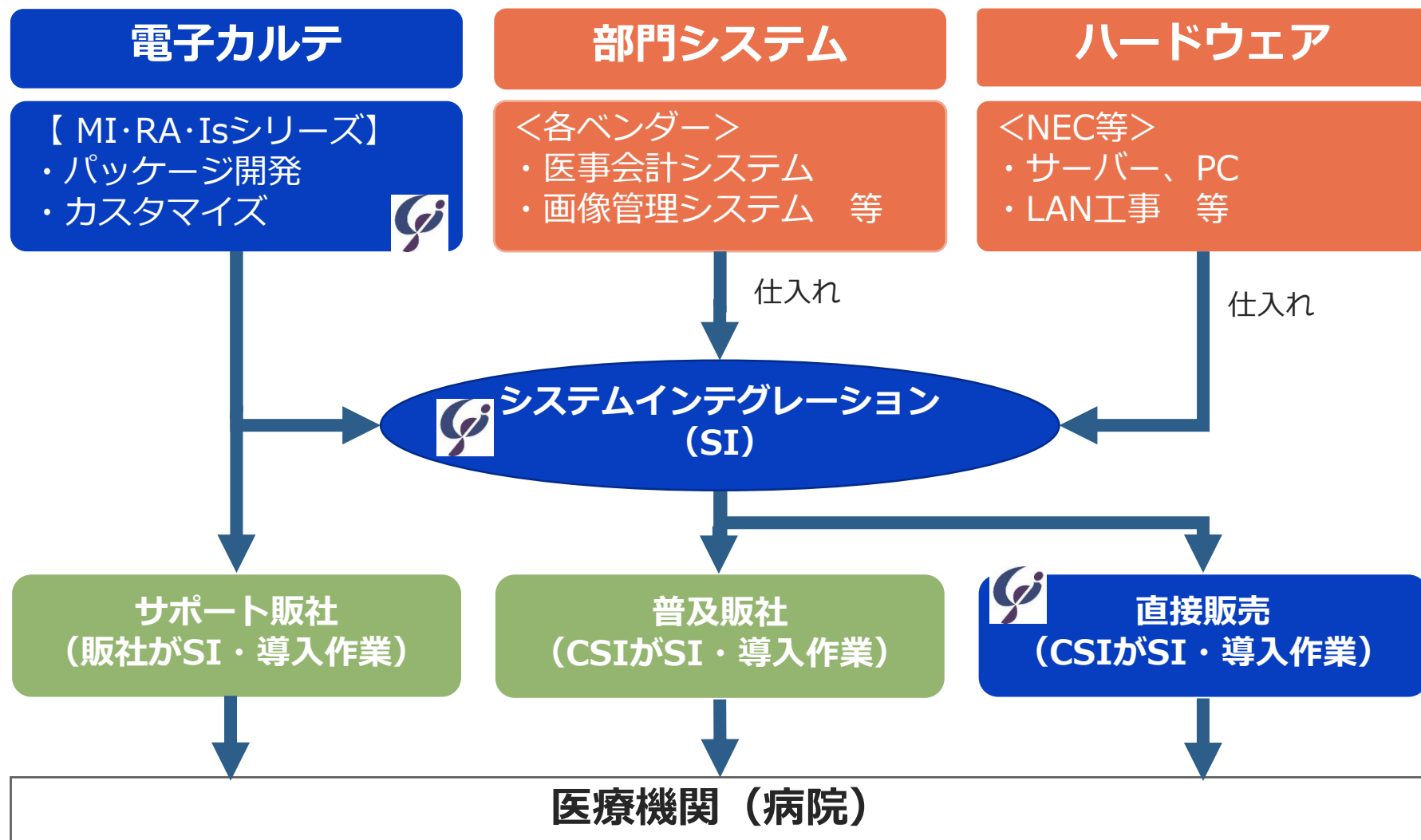
□ 個別案件対策まで踏み込んで支援を行い、成果が出ている

直販
13ユーザー

提携先
40ユーザー

SI事業構造改革【シーエスアイ】

電子カルテを含む
医療情報システム
の事業構造



SI事業構造改革【シーエスアイ】

電子カルテを含む
医療情報システム
の事業構造

電子カルテ

【MI・RA・Isシリーズ】

- ・パッケージ開発
- ・カスタマイズ



部門システム

<各ベンダー>

- ・医事会計システム
- ・画像管理システム等

ハードウェア

<NEC等>

- ・サーバー、PC
- ・LAN工事 等

仕入れ

□ 外部調達コストの削減
（価格交渉や内部調達比率の向上）

□ システムインテグレーション（SI）
作業の見直し

（リモート作業の推進による業務効
率向上と旅費交通費削減、内製化の
拡大等）

（販

業）

魅力ある製品・サービスの投入【シーエスアイ】



中規模・小規模病院向け施策

MI·RA·Is/AZ
for Cloud ミライズ エーザー

中規模向けクラウド版
の低価格メニュー提供

- ノンカスタマイズを前提とした、低価格メニュー提供
- より低価格で、かつ利益が出るサービスへ

小規模向け
低価格製品の開発

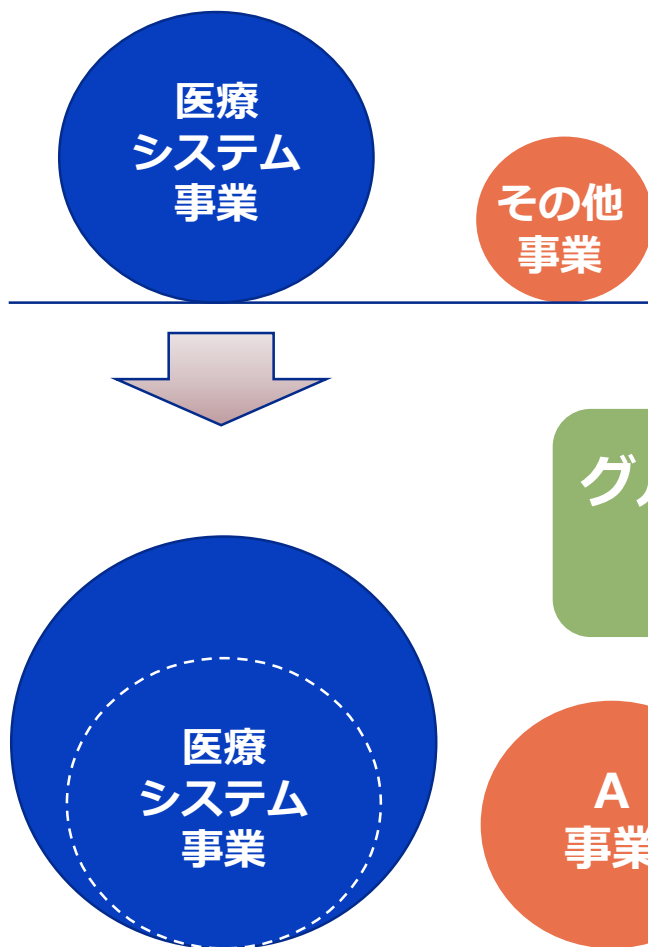
- 機能を限定し、低価格化を実現
- 電子カルテの更なる普及を目指す

国の動きを織り込んだ施策

医療データ利活用に向けた電子カルテ機能強化の研究開発

- 電子カルテに取り込んだ情報を、AIで解析可能な形にするための研究
- 医療情報の標準化を目指す政府戦略をにらむ

グループでの事業領域拡大



医療・介護・福祉・保健に関わる
情報システム や 情報サービス を
中心に、事業領域を拡大

グループ内での事業の育成・立ち上げに加え、
提携やM&Aに積極的に取り組む

A
事業

B
事業

n
事業

(株)マイクロンとの資本業務提携 及び同社株式の取得（連結子会社化）

(2019年11月8日開示)

株式会社マイクロンと資本業務提携を行い、マイクロンが発行する株式の過半を取得して連結子会社化する予定（11月29日付）

□マイクロンの会社概要



設立	2005年10月			
所在地	本社（東京）、大阪支社、名古屋事業所			
従業員数	約200名（2019年9月末時点）			
事業内容	次スライド以降をご参照下さい			
業績	（百万円）	売上高	営業利益	当期純利益
	2018年9月期	1,694	65	22
	2019年9月期 （エムフロンティア との単純合算）	1,592	△2	△23
関係会社	株式会社エムフロンティア（2019年3月設立） ・ マイクロンの完全子会社 ・ 人材派遣業			

(株)マイクロンとの資本業務提携 及び同社株式の取得（連結子会社化）

(2019年11月8日開示)

□マイクロンの事業内容

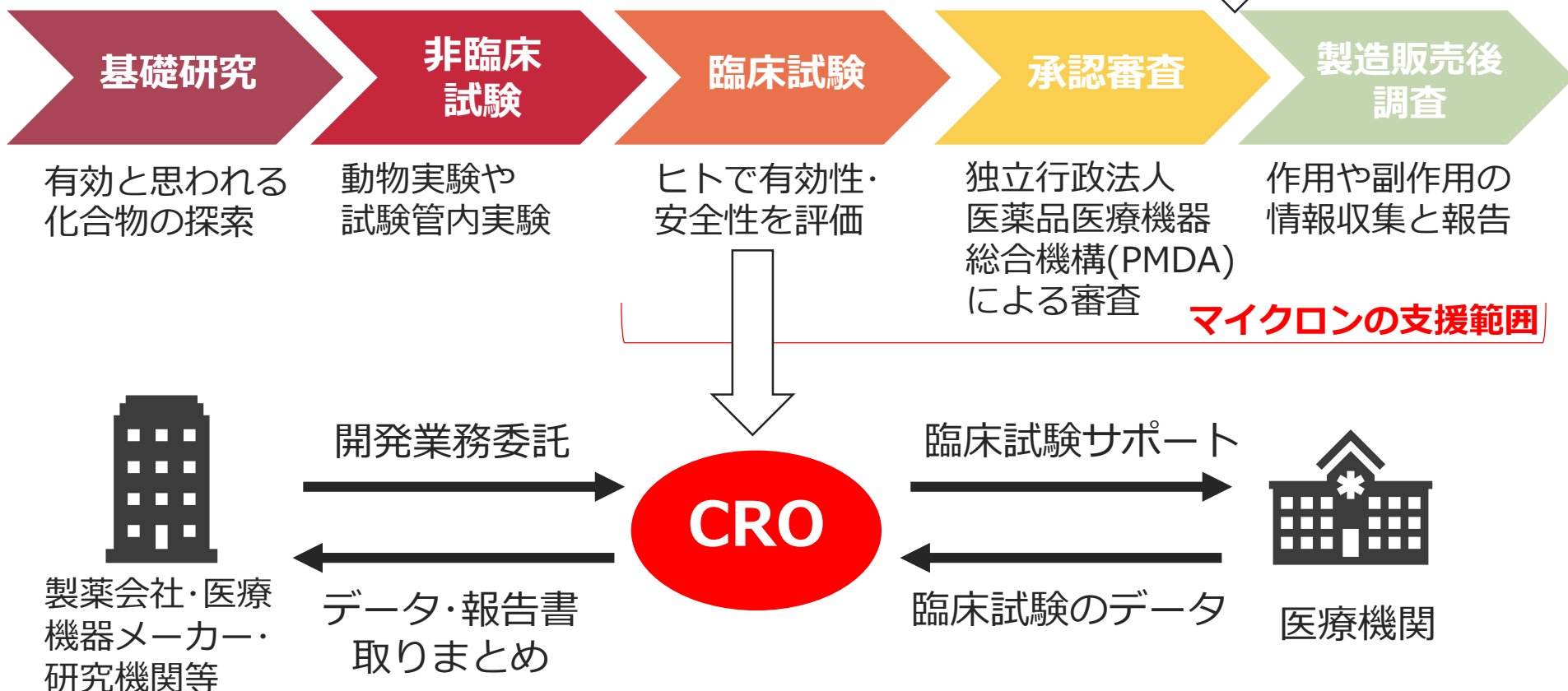
- **医薬品・医療機器等の開発業務受託機関【後記 ※ 1】**
(CRO/シーアールオー : Contract Research Organization)
 - 一般のCROとは異なる独自の展開
 - 「イメージング CRO」の国内パイオニアで、国内・アジア圏で最多の実績【後記 ※ 2】
 - ・ 医薬品や医療機器等の臨床試験において、CTやMRI等で得られた画像データを解析し、有効性や安全性の評価に活用
 - ・ 再生医療、AIによる画像診断支援等に対象領域が広がり、将来性が期待されている
- **医療用画像解析ソフトウェア（医療機器認証取得済）の開発・販売【後記 ※ 3】**
 - 医療機関において患者の診療に使用するソフトウェアで、今後普及が見込まれる
(例) ・ 脳の画像データを解析し、脳内の血流から病態を確認し、治療法の検討に用いる
 - ・ 手術や投薬の後に腫瘍の体積の変化を測定し経過を分析する
 - 臨床試験への応用も可能で、「イメージング CRO」事業の拡大にも貢献
- **イメージングバイオマーカーの研究開発【後記 ※ 4】**（研究機関と共同）
 - 臨床試験において医薬品の有効性や安全性を早期かつ正確に評価するための方法の確立を目指す
(国内では先進的な取り組み)

【※ 1】 CRO とは



□ 製薬会社・医療機器メーカー・研究機関等から
医薬品・医療機器等の開発業務を受託する会社

新薬の開発プロセス

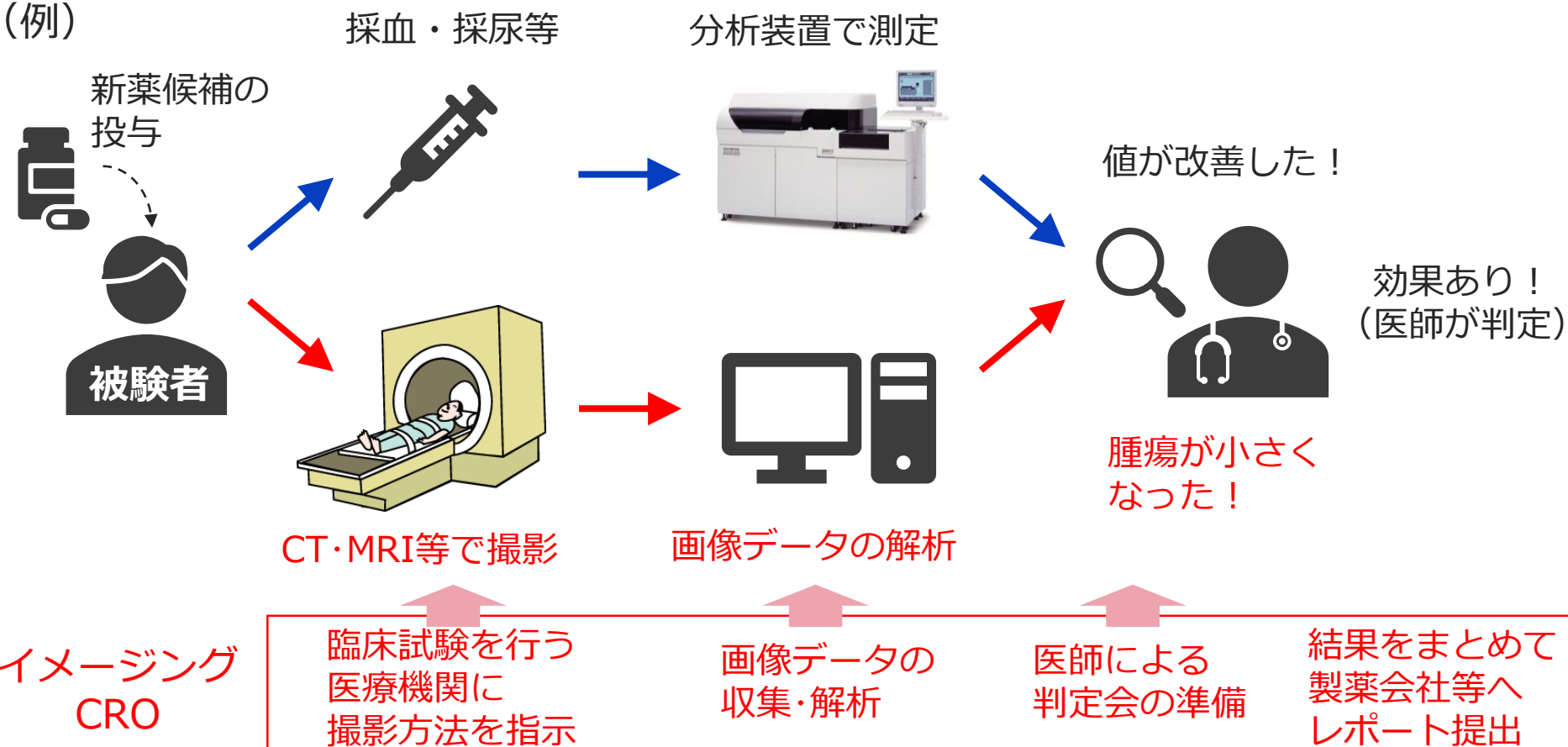


【※2】 イメージング CRO とは



□ 臨床試験において、CTやMRI等で得られた画像データを解析し、医薬品や医療機器等の有効性や安全性の評価に活用するCRO

(例)



【※3】医療用画像解析ソフトウェアとは

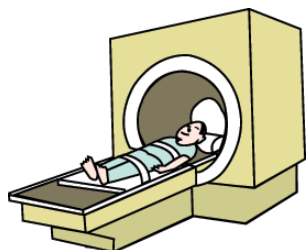


- 医療機関において患者の診療に使用する、画像解析ソフトウェア
(医療用として販売するためには、医療機器の認証取得が必要)

(例) 脳梗塞の例



脳梗塞！？



CT・MRI等で撮影



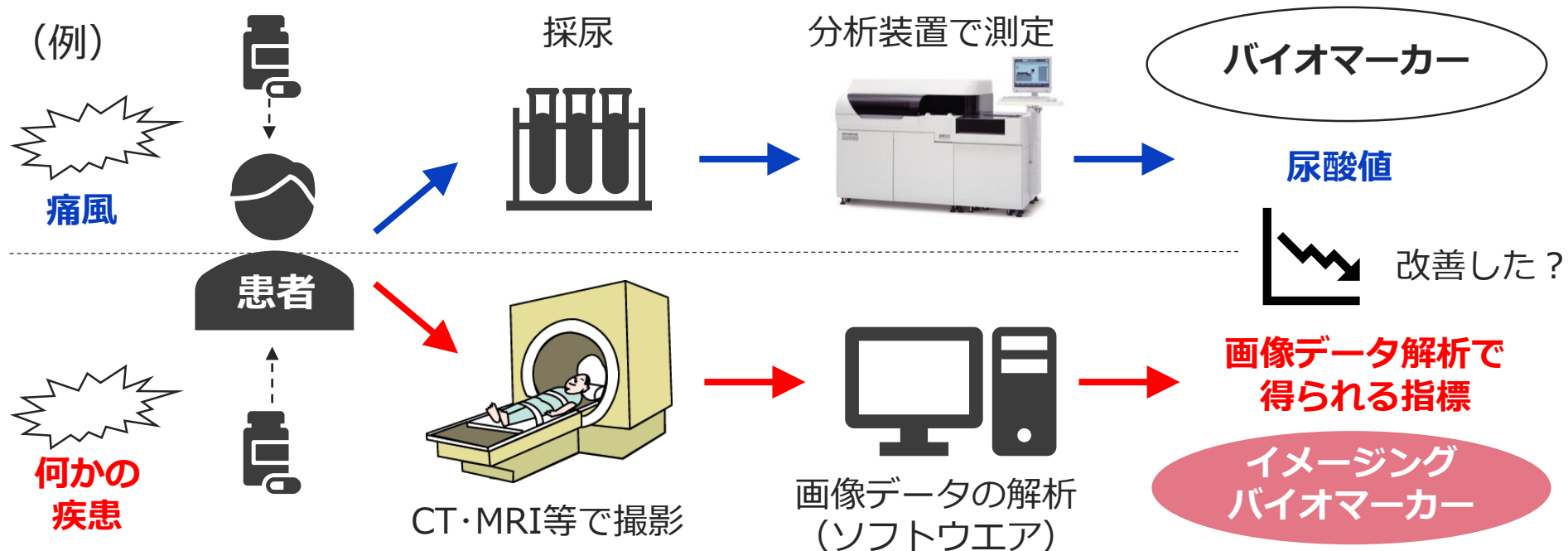
ソフトウェアで脳の画像データを解析し、
脳内の血流から病態を確認



【※】 イメージング バイオマーカー とは



□ CT・MRI等からの画像データを処理して得られる、病気の变化や治療に対する反応を表す客観的な指標
(イメージング技術を用いて測定するバイオマーカー)



身体の状態を客観的に表し、医薬品の有効性や安全性を評価するには、何が指標として使えるのか、また、その指標を効果的に測定するための画像撮影方法や処理方法を、研究機関と協同で研究
(指標として確立し普及すれば、それを測定するためのソフトウェアも普及する)

資本業務提携によるシナジー創出



□ 当社（電子カルテを中心とした医療情報システムのトップクラスベンダー）

- グループ各社の拠点及び全国の販売チャネル網を通じた、多くの病院とのコンタクト（うち800を超える病院が当社の電子カルテユーザー）
- 病院における医療情報システムに関する知見や技術力
- マルチベンダー方式採用により培った、数多くの他社製品とのシステム接続実績
- 資金調達力

両社の事業資産を活用し、シナジーの創出に取り組む

□ マイクロン（画像解析を活用するCRO、かつ先進的な医療ソフトウェアベンダー）

- 数多くの臨床試験実績（海外医療機関を含む）
- 医療データの取扱いノウハウ
- 製薬会社、医療機器メーカー、業界で影響力を持つ医師（Key Opinion Leader : KOL）など、医療関係者との緊密な関係性
- 画像解析技術
- 医療機器認証取得ノウハウ（第二種医療機器製造販売業許可保有）
- 医療機器認証を取得した、複数の画像解析ソフトウェア製品を保有

資本業務提携の内容



□ 業務提携

- マイクロンの医療用ソフトウェアの拡販戦略の立案と実行
(当社グループ及び当社グループの販売チャネルで拡販する等)
- 電子カルテをはじめとする医療IT技術を用いた、CRO業務の効率化
(遠隔で電子カルテを閲覧可能とし、臨床試験における原データ確認を効率化する等)
- 新たな事業の共同開発 (以下のような例が想定されるが、具体的には今後検討)
 - 電子カルテと連携する医療用ソフトウェアの開発・販売
 - 製薬領域における電子カルテデータの利活用事業
(臨床試験対象者の探索支援、製造販売後調査支援等)
 - 医用画像と電子カルテの融合による新たな事業 (AIを含む)

□ 資本提携

- 当社は、2019年11月29日付(予定)で、マイクロンの第三者割当による自己株式処分を引き受け、またマイクロンの株主より株式を譲り受けることにより、約7割の株式を取得し、マイクロンを当社の連結子会社とする。

目次



グループ概要

2019年9月期ハイライト

医療及び医療情報システム市場の動向

年度計画、中期計画

業績向上に向けて

財務情報・株式情報◆

株式情報（2019年9月30日現在）



証券コード	4320
上場市場	東京証券取引所市場第一部、札幌証券取引所
株式の売買単位	100株
発行可能株式総数	19,966,000株 ※
発行済株式の総数	7,552,243株（自己株式 1,157株除く） ※
株主数	5,537名
事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会	毎年12月開催
基準日	定時株主総会 毎年9月30日 期末配当金 毎年9月30日

※ 2019年9月30日を基準日とし、2019年10月1日をもって普通株式 1 株につき 2 株の割合で株式分割を行っております。

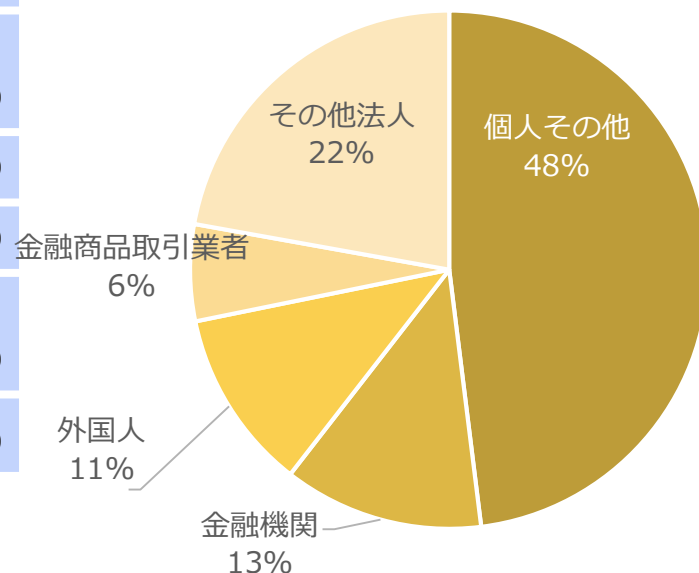
大株主上位10名等（2019年9月30日現在）



株主名	持株数	持株比率
杉本 恵昭	705,400	9.34%
MSIP CLIENT SECURITIES	645,400	8.55%
日本電気株式会社	600,000	7.95%
株式会社エムティーアイ	483,500	6.40%
株式会社光通信	376,500	4.99%
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社（信託口）	205,200	2.72%
日本事務器株式会社	141,600	1.88%
会田 研二	141,400	1.87%
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社（信託口）	139,100	1.84%
山下 良久	132,300	1.75%

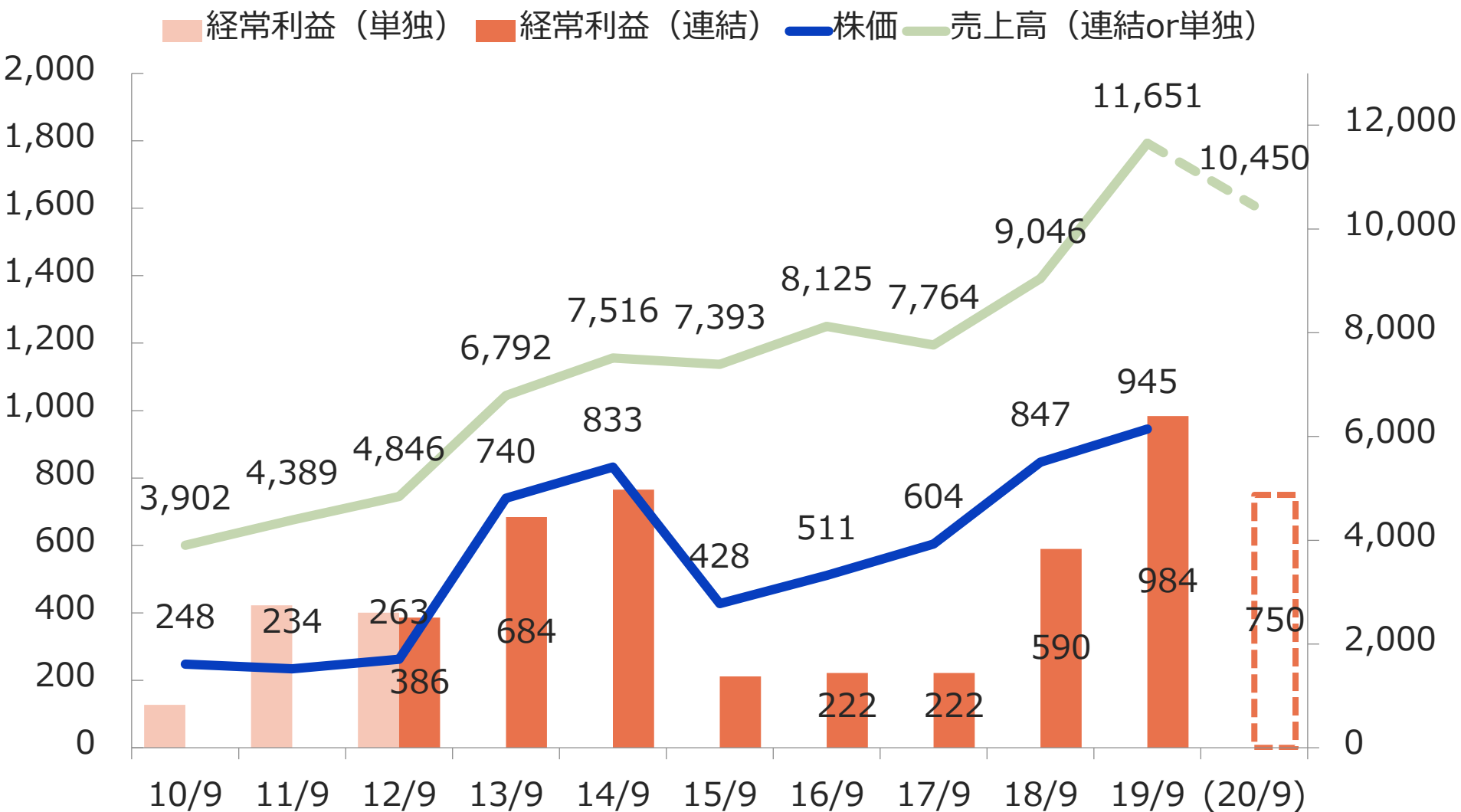
	株数	保有比率
特定株	3,647,557	48.29%
浮動株	1,997,300	26.44%

※特定株：
大株主上位10名+役員持株+自己株式（重複分除く）
※浮動株
100株以上5,000株未満の株主が保有する株式数



※当社は2019年9月30日時点で自己株式を1,157株保有しております。
※持株比率は自己株式を控除して計算しております。

業績・株価の推移



※株価については、過去の株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の推移を示しております。



2019年9月期 決算説明会資料

本資料に含まれる業界の動向や分析、今後の見通し、施策等は、現時点における情報に基づき判断したものであります。従いまして、将来の業績等につきましては、今後様々な要因により、大きく異なる可能性があります。

投資を行う際は、利用者ご自身のご判断で行われますようお願いいたします。

(連絡・お問合せ)
株式会社 C E ホールディングス
経営企画室
TEL.011-861-1600